

『四季の移ろいと暮らす』 信州のすまい



『次世代まで住み継がれる』 民家の再生

□設立趣旨

地域産材のすまいを建てたいが高価であきらめた・・・そんな話をよく耳にします。しかし実態は**流通ルートを考慮した工法**で建築すれば、輸入材と同等価格で地域産材のヒノキ・杉・赤松等で組み上げられた良質なすまいを手に入れる事が出来ます。

それは原木乾燥・架構・木工まで行う**民間木材会社の協力により、最短の流通ルートを構築**しているからです。これにより桧・杉・赤松等、多種多様な木材が選択可能であり、床板・羽目板・建具等、自由に加工できます。

また現在では入手可能な木材・工法で建築された**昭和のすまい・民家再生・リノベーションにも積極的に**取り組みます。

日本の空家が820万戸にも達する現在、次世代まで住み継がれる良質なすまいを提供するのが、私達の主題です。

「信州森組」は、良質な地域産材・地場産材による建築・再生改修工事により、次世代まで住み継がれるすまいを創出します。

